



感謝の気持ち忘れず

今年も明るく楽しく



東京川西会々長
森田 光雄
(大塚)

先日、春風に誘われ恒例の埼玉地区花見に参加しました。20数名が集まりましたが、程よい天気恵まれ、また今年は満開の下での花見となり、和気あいあいとお酒を飲みながら一日を楽しみました。

5月19日に定期総会を開催します。川西町から町長はじめ多数の来賓の皆様をお迎えしますので、是非、皆様方の出席をお待ちしています。

中国の故事に「飲水思源」という言葉があります。この意味は井戸水を飲む際、井戸を掘った人のことを考えてほしいということです。今、恵まれた立場にいるのは、井戸を掘ってきた先輩がいたからこそで、感謝の気持ちを忘れてはいけないとい

うことです。私たちも、東京川西会をここまで発展させてこられた先輩方の努力を決して忘れないで、今後とも活動してまいります。

新元号「令和」が決定しました。近年西暦表示が多く、特に若年層は生年月日を尋ねると西暦対応が多いようです。馴染むまでは少し時間がかかると思いますが、新しい元号の時代が透明性のある素晴らしい時代となることを期待したいものです。

第三十三回定期総会と懇親会のご案内

陽春の候 会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、第三十三回定期総会並びに懇親会を左記要領で開催いたします。今年も楽しい企画を準備して、皆様には気楽に楽しんで頂けるものと思ひます。知人、友人お誘い合わせのうえ、御出席頂きますようご案内申し上げます。

記

◆日時 二〇一九年五月一九日(日) 午前十一時より

◆会場 主婦会館プラザエフ 〇三(三二六五)八二一

◆会費 JR四ツ谷駅(麹町口) 徒歩一分・地下鉄四ツ谷駅 徒歩三分
男性八千円 女性七千円

・お楽しみ抽選会、カラオケ、郷土の特産品の販売等
・参加を希望される方は、同封の振込用紙にて、年会費二千円と併せて参加費を五月九日までにお振り込み頂きますようお願い致します。

アルカディアの里「東京川西会」会長 森田 光雄

今年の最大関心事の一つは、10月から予定されている消費税増税かと思ひます。政府は前回の増税後の景気冷え込みを警戒し、いろんな景気対策を準備していますが、果たして思惑通りにいくのでしょうか。対策の一つとして言われているのがクレジットカードや、電子マネーなどを決済に使った場合のポイント還元です。

若い人には通常の決済方法で何の問題もないと思うが、一方で使いこなせないお年寄りなどへの配慮が必要となります。今は、お賽銭も電子マネーでどうぞという神社すらある

と聞きます。そのうちお年玉やお小遣いも同じような道をたどるのでしようか。

買い物などカード一枚ですます習慣が広がれば、なるほど効率的です。お金のことを「おあし」と呼ぶのは、まるで足があるように、どこかへ逃げてゆくからだといわれていますが、電子マネーやカードになると、さらに足早に逃げていくかもしれません。お互いに十分気をつけたいものです。

仕事柄、消費税増税について一言。日本は複数税率を採用しますが、世界的にみると採用している国は少ないようです。理由はすつきりとした線引きが難しいからで、どうしてもいろんな思惑が入り判断があやふやになるからです。

特に飲食店などでの混乱が予想されています。店内飲食とお持ち帰りで税率が違ってくるからで、顧客の意思をいちいち確認し、店員に判断を求めること自体いかなものかと考えます。

単一税率を採用し、増税に伴い当然必要な配慮は、例えば社会保障費予算の中で手当てすることも議論されたはずですが。なかなか複雑で難しい問題ですが、今となってはできるだけ現場で混乱が起きないことを願うだけです。

会報発行の努力に敬意



川西町長
原田 俊二
(中郡)

いよいよ平成も最後の 1 か月となりました。節目の会報の発行おめでとうございます。年 3 回の発行を続けていることに驚くとともに、これまで編集に携わってこられた方々に敬意を申し上げます。会員の心をなぐ架け橋として末永く発行されることを期待しております。

さて今年の冬は記録に残る小雪暖冬でした。小松では 3 月 3 日に積雪ゼロとなり、春が 1 か月早まったように感じました。この陽気に誘われ、桜と同じようにサクランボやぶどう、ラフランスなどの芽も膨らみ始めましたが、まだ雪や遅霜は油断できず、被害がでないか心配しています。これから 1 か月、天気予報とにらめっこすることになります。山形県といえば農業県。おいしいつや姫や雪若丸に代表される米、米沢牛などの畜産、サクランボに代表される果樹王国は、どれも魅力的なブランド力を持っています。毎年気候変動が大きく、農家は苦勞を重ねていますが、立派な農産物を皆様に届けようと頑張っています。川西町でも米、牛肉、果樹、花卉など生産額が伸びていま

すので、変わらぬご支援をよろしく願います。

今年は大塚地区に県南園芸ステーションが稼働します。収益性の高い「えだまめ」「アスパラガス」の規模拡大を図るため集出荷施設が整備されました。えだまめ 300 ヘクタール、アスパラガス 100 ヘクタール規模を処理しますが、川西町はえだまめ 100 ヘクタール、アスパラガス 30 ヘクタールの作付を目標にしています。米の需要が毎年減少する中、米に代わる作物としてえだまめ・アスパラの産地化による米+の所得向上を目指します。ぜひ置賜の農産物を応援してください。

3 月 23 日 24 日の 2 日間、玉庭ひなめぐりが開催され大盛況でした。前日の春の陽気から寒の戻りのような雪模様となりましたが、心温まるおもてなしでどの会場も熱気にあふれました。歴史を感じる享保雛など代々受け継がれてきたお雛様と山菜などの煮付けや漬物、豆料理や寒天流しなど手作り料理がテーブル一杯に並べられ楽しい時間を過ごすことができました。今年で 21 回目ですが、人情味豊かな玉庭の人との触れ合いを楽しみに、年々リピーターが増えているのがうれしいです。この活気が玉庭の地域づくりの原動力になっていることを感じました。えがったよ。

来月の総会で、また皆様とお会いできるのが楽しみです。森田会長を

始め役員の方々のご奮闘に心から感謝するとともに、皆様の益々のご健勝をご祈念申し上げます。

川西町の最新情報

▼どこでも気軽に町報が読めるアプリ「マチイロ」導入

「町報かわにし」がスマホやタブレット用のアプリ「マチイロ」を通して読めるようになりました。利用方法は、利用したい機器に「マチイロ」をダウンロードして「町報かわにし」を登録するだけ。しかもアプリの利用料は無料です。町報発行を知らせる通知や記事のスクラップ、SNSでの共有など便利な機能も搭載されています。お問い合わせ 川西町未来づくり課 0238-42-6695

▼パークゴルフ場の今シーズンオープンは 4 月中旬

昨年 7 月にオープンし、期間中 9,081 名ものみなさんがプレーを楽しんだ「川西ダリヤパークゴルフ場」。今シーズンのオープンは 4 月中旬の予定です。大人の 1 日利用料金は 500 円とリーズナブル。用具のレンタルもありますので、どなたでも気軽にプレーで

きます。お問い合わせ 川西町浴浴センターまどか 0238-42-4126

▼ヒメサユリ咲く丘を歩く

南東北でしかみることができない稀少な花「ヒメサユリ」。本町では下小松古墳群や玉庭の里山に数多く自生しています。花が盛りを迎える 6 月 8 日(土)には、羽前小松駅集合解散のウォーキングイベント「ひめさゆりウォーク」が開催され、歴史的な小松の街やさわやかな田園地帯、ヒメサユリ咲く古墳群など約 10 キロを歩きます。東京から日帰りでの参加も可能です。

- ・ 期日 6 月 8 日(土) 11 時 15 分開会 16 時解散
- ・ コース 羽前小松駅→下小松古墳群→長堀→諏訪神社→羽前小松駅
- ・ 参加料 無料
- ・ 申し込み 川西町まちづくり課

0238-42-6668



アルカディアの里「東京川西会」
第三十三回定期総会&懇親会

第一部 総 会

- 1 開会のことば
- 2 会長あいさつ
- 3 来賓者の紹介
- 4 来賓者の祝辞
- 5 議長選出
- 6 議長あいさつ
- 議 題
- 第一号 平成三十年度事業報告
- 第二号 平成三十年度決算報告
- 第三号 平成三十年度会計監査報告
- 第四号 令和元年度役員について(案)
- 第五号 令和元年度事業計画(案)
- 第六号 令和元年度会計予算(案)
- 第七号 その他
- 7 議長解任
- 8 閉会のことば

〔休憩十分〕

第二部 交流懇親会

- 1 開宴のことば
- 2 乾杯
- 3 懇談
- 4 お楽しみ抽選会
- 5 ふるさと合唱
- 6 締め

第1号議案		平成30年度事業報告書	自 平成30年4月 1日
			至 平成31年3月31日
年 月 日	項 目 内 容	備 考	
平成30年4月7日	埼玉地区行事 お花見会	川口グリーンセンター	
平成30年4月14日	第1回理事会 定期総会・懇親会実行委員会	台東区 浅草	
平成30年4月15日	会報 第77号発行		
平成30年5月12日	総会会場と打ち合わせ(会場、料理、人員、予算)	主婦会館プラザ	
平成30年5月12日	第2回理事会 定期総会・懇親会最終打ち合わせ	台東区 浅草	
平成30年5月20日	第32回定期総会・懇親会	主婦会館プラザ	
平成30年6月10日	神奈川地区行事	伊豆伊東温泉	
平成30年7月14日	第1回正副会長会議	台東区 浅草	
平成30年7月29日	東京飯豊会総会	日暮里 ホテルグランウッド	
平成30年8月11日	川西町夏まつり	川西町総合運動公園	
平成30年8月31日	黒べこまつりツアー 観光・交流会	大谷資料館・まどか	
平成30年9月1日	観光(長井古代資料館他)・黒べこまつり	ダリア園	
平成30年9月15日	会報 第78号発行		
平成30年9月15日	第3回理事会 第31回いも煮会実行委員会	台東区 浅草	
平成30年10月13日	第4回理事会 いも煮会最終打ち合わせ	台東区 浅草	
平成30年10月20日	いも煮会準備及び町との懇親会	あきる野市(山溪)	
平成30年10月21日	第31回いも煮会	秋川溪谷	
平成30年10月28日	東京飯豊会いも煮会	秋川溪谷	
平成30年11月4日	東京玉庭会総会	上野公園 グリーンパーク	
平成30年12月1日	第53回研修会・平成30年忘年会	目黒区 大橋会館	
平成31年1月6日	東京地区行事 亀戸七福神めぐり・昼食会	亀戸水神駅	
平成31年1月15日	会報 第79号 発行		
平成31年2月2日	第2回正副会長会議	台東区 浅草	
平成31年3月16日	第5回理事会	台東区 浅草	



第2号議案		平成30年度一般会計決算報告		
[収入の部]		平成30年4月1日～平成31年3月31日		
科 目	決算額	予算額	増 減	摘 要
前年度繰越金	383,482	383,482	0	
年会費	310,000	340,000	-30,000	@2,000*155会員
助成金	81,000	81,000	0	川西町
広告収入	67,000	60,000	7,000	会報広告掲載料
総会参加費	631,150	600,000	31,150	出席者70名
黒べこ参加費	926,000	850,000	76,000	参加者39名
芋煮会参加費	835,850	800,000	35,850	参加者160名
研修・忘年会	210,000	200,000	10,000	参加者42名
雑収入	3	50	-47	預金利息
合計金額	3,444,485	3,314,532	129,953	
[支出の部]				
科 目	決算額	予算額	増 減	摘 要
総会費	564,171	600,000	-35,829	会場費、懇親会費用他
黒べこ	939,580	850,000	89,580	バス代、宿泊代他
芋煮会	797,416	800,000	-2,584	材料費、会場費他
研修・忘年会	186,940	200,000	-13,060	懇親会費用
会議費	106,982	130,000	-23,018	理事会、正副会長会
会報発行費	127,252	140,000	-12,748	印刷代
通信費	140,914	150,000	-9,086	電話、切手、ハガキ他
印刷費	8,312	25,000	-16,688	各種印刷代
消耗品費	21,650	10,000	11,650	文具、コピー代他
振込手数料	18,330	20,000	-1,670	会費振込手数料負担金
交流費	67,329	60,000	7,329	川西夏祭り、友誼団体
予備費	0	329,532	-329,532	
次期繰越金	465,609		465,609	
合計金額	3,444,485	3,314,532	129,953	
次期繰越金 465,609円の内訳 1 現金 63,693円 2 郵便貯金 401,916円				
創立30周年協賛金特別会計				
[前期繰越金]		162,478		
[収入・支出の部]		0		
[次期繰越金]		162,478	(全額郵便貯金)	



第3号議案		会計監査報告		
平成30年度は、各事業の終了の都度、また、決算資料完成の段階で各帳簿、関係書類を監査いたしました。				
その結果、適正に処理されていると認めましたのでご報告いたします。				
ます。				
平成31年4月6日				
		監事	佐藤 茂	印
		監事	鈴木 茂	印

第4号議案

2019年度 東京川西会役員（案）

・ 任期は2018年5月総会からの2年間

・ 小池比呂司理事は今回退任

・ 鈴木比呂司理事は今回退任

に、高梨理事が監事に変更

監事		理 事														顧 問			役職							
													事務局次長	事務局長	副会長	副会長	副会長	副会長	会長							
高梨	佐藤	渡部	原田	鈴木	村田	瀧澤	河原井	星野	高橋	倉持	奥村	奥村	大森	遠藤	鈴木	佐藤	名取	伊藤	森	須貝	高橋	森田	笹木	神野	米野	氏
貞夫	茂	俊明	史歩	信一	忠一	浩	敬子	亜輝子	雅彦	経子	洋二	健二	啓子	房雄	茂	誠	清雄	健利	功	利喜夫	良暢	光雄	俊雄	民夫	宗禎	名
小松	中郡	吉島	中郡	玉庭	小松	小松	小松	大塚	犬川	犬川	犬川	犬川	犬川	犬川	玉庭	犬川	中郡	玉庭	小松	大塚	犬川	大塚	吉島	玉庭	小松	出身

第5号議案	平成31年度事業計画（案）	自 平成31年4月 1日
		至 令和 2年 3月31日
年 月 日	項 目 内 容	備 考
2019年 3月31日(日)	埼玉地区行事 お花見会	川口グリーンセンター
2019年 4月15日(月)	会報 第80号発行	
2019年 5月11日(土)	第1回理事会 定期総会打ち合せ	
2019年 5月19日(日)	第33回定期総会・懇親会	主婦会館プラザ
2019年 6月 5日(木)	神奈川地区行事	伊東温泉(泊)
2019年 6月15日(土)	第2回理事会 (川西夏まつり、黒べこまつり参加)	
2019年 7月13日(土)	第1回 正副会長会議	
2019年 8月11日(日)	川西夏まつり	川西町
2019年 9月 6日(金)	黒べこまつりツアー・交流会	まどか(泊)
2019年 9月 7日(土)	黒べこまつり	ダリヤ公園
2019年 9月14日(土)	第3回理事会 第32回いも煮会打合せ	
2019年 9月15日(土)	会報 第81号発行	
2019年10月12日(土)	第4会理事会 いも煮会最終打ち合わせ	
2019年10月19日(土)	いも煮会準備及び町との懇親会	あきる野市(泊)
2019年10月20日(日)	第32回いも煮会	秋川溪谷
2019年12月 7日(土)	第54回研修会及び忘年会	大橋会館
2020年 1月 5日(日)	東京地区行事 七福神巡り	
2020年 1月15日(火)	会報 第82号発行	
2020年 2月 1日(土)	第2回 正副会長会議	
2020年 3月14日(土)	第5回理事会 定期総会打合せ	

第6号議案		平成31年度一般会計予算(案)			
[収入の部]					平成31年4月1日～令和2年3月31日
科 目	予算額	前年実績	増 減	摘 要	
前年度繰越金	465,609	383,482	82,127		
年会費	320,000	310,000	10,000	@2,000*160会員	
助成金	81,000	81,000	0	川西町	
広告収入	60,000	67,000	-7,000	会報広告掲載料	
総会参加費等	600,000	631,150	-31,150		
黒べこ参加費等	950,000	926,000	24,000		
芋煮会参加費等	850,000	835,850	14,150		
研修・忘年会	200,000	210,000	-10,000		
雑収入	10	3	7	預金利息	
合計金額	3,526,619	3,444,485	82,134		
[支出の部]					
科 目	予算額	前年実績	増 減	摘 要	
総会費	600,000	564,171	35,829	会場費、懇親会費用他	
黒べこ	950,000	939,580	10,420	バス代、宿泊代他	
芋煮会	850,000	797,416	52,584	材料費、会場費他	
研修・忘年会	200,000	186,940	13,060	懇親会費用	
会議費	120,000	106,982	13,018	理事会、正副会長会	
会報発行費	140,000	127,252	12,748	印刷代	
通信費	150,000	140,914	9,086	電話、切手、ハガキ他	
印刷費	10,000	8,312	1,688	各種印刷代	
消耗品費	25,000	21,650	3,350	文具、コピー代他	
振込手数料	30,000	18,330	11,670	会費振込手数料負担金	
交流費	70,000	67,329	2,671	川西夏祭り、友誼団体	
予備費	381,619	0	381,619		
次期繰越金		465,609	-465,609		
合計金額	3,526,619	3,444,485	82,134		
創立30周年協賛金特別会計(案)					
					平成31年4月1日～令和2年3月31日
[前期繰越金]		162,478			
[収入・支出の部]		0			
[次期繰越金]		162,478			

「七福神」めぐり



いすみ市在住
村田 忠一
(小松)

数年ぶりの参加である。浅草七福神めぐり以来の参加であるが、年号が改められる年だし、亀戸天神社にもお詣りしたかったので、愉しみが過ぎて待ち合わせの駅前に一時間も早く着いてしまった。

誰もおらんと思ってた来たが、なんと佐藤ご夫妻や会員がもう三人も待っておられた。これは新年から良い気分になれそうである。しかし寒い駅前路上で待つのも辛苦なものである。挨拶も漫ろになるが、これも良しとする。

参加者が揃ったので、先ず常光寺(寿老人)に詣で六阿弥陀に健康第一を願う。弁財天の東覚寺、そして香取神社の恵比寿神・大黒神に詣でる頃は歩調も思うようにゆかず、一行二十八人の列もバラバラとなる。それでも皆、弱音を吐くこともなく、小説「野菊の墓」で知られる伊藤佐千夫の墓や幕末の名横綱(九代目・秀ノ山雷五郎)の墓の普門院(毘沙門天)で勇氣と元氣を授け、六番目の天祖神社(福祿寿)に詣で、龍眼寺(萩寺)の布袋尊に参詣し、遅い昼食と打上げのため、錦糸町駅近

くに予約を入れていた場所に集合。森田会長の挨拶の後、個々に今年の抱負や、七福神めぐりに参加できたことで災害を鎮め福徳が叶えられるようにとの願いなどを語り合い、和やかなうちに解散となった。

小生の「七福神」めぐりの収穫は、全員で詣でる予定だったが時間の関係で参詣できなかった亀戸天神社へ、一人小生は早く亀戸に着いたので家内安全祈願が出来た事である。

この七福神めぐりの歩数は錦糸町打上げ場所まで、一万三千六六六歩であった。来春が待ち遠しくなる。数年継承されているこの行事は、続けてほしいものである。

神奈川地区行事のご案内

「初夏の旅」参加者募集

行き先 伊豆伊東温泉

「伊東園ホテル松川館」御膳食(美しい日本庭園と源泉掛け流しで悦に浸る湯宿です。なお、湯めぐりとして、近くの伊東園ホテルと伊東園ホテル別館の天然温泉を堪能できます。昨年ご好評をいただきました。)

0557 (37) 3100

期 日 令和元年6月5日(水)

6日(木) 一泊二日

参加費 お一人様 15,000円

(宿泊、宴会、往復バス代込)

集合地 ①横浜駅西口・高島屋經由

野村証券前

10時40分 集合完了

10時55分 バス発車

②JR上野駅公園口(第一駐車場内)

8時45分 集合完了

9時00分 バス発車

伊東園ホテルグループの「伊東園ホテル、伊東園ホテル別館、伊東園ホテル松川館行きバス」にご乗車下さい。(伊東園ホテルズのジャンパーを着たスタッフが目印です。)

募集人員 先着30名(地区外の会員もOK。ご家族、ご友人お誘い合わせてのご参加をお待ち申し上げております。)

申込締切 5月20日(月)

お申込み・お問合せ先

神奈川地区長 名取 清雄

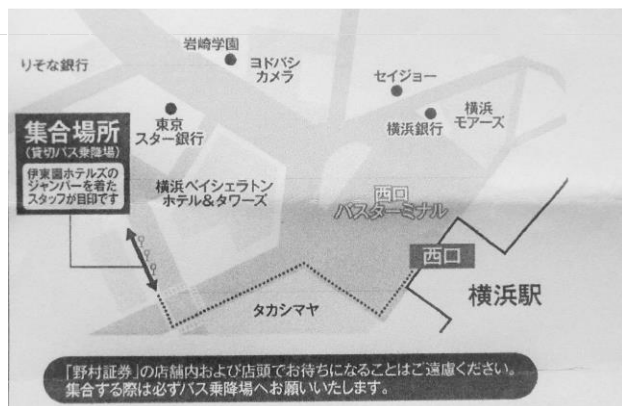
電話、ファックスとも

044 (922) 4842

ご注意 キャンセルは2週間前までにお願いします。5月22日からキャンセル料が発生します。当日のキャンセルはバス代、宿泊費がかかります。



上野駅集合場所



横浜駅集合場所

事務局だより

新会員のご紹介

糸井 利行様 横浜市在住（最上郡）

編集後記

いよいよ新天皇皇后両陛下とともに新たな元号令和がスタートします。平成は、不意ながら災害の時代ともいわれ、多くの未曾有の災害に見舞われました。しかし、令和の下においても、南海トラフ、首都直下の大地震は秒読みの段階に入っています。自然災害を止めることは出来なくとも、被害を最小限に食い止めることは可能です。未来の人達から防災・減災の時代であったといわれるよう、防災の意識と行動を日課にまで高めていきたいと思えます。

まもなく、先の大戦から七五年の節目を迎えます。戦後処理は百年かかるといわれますが、戦争を生き延びた親世代が鬼籍に入る前に、アジアの国々との真の友好を成し遂げたいものです。この3月に、もしかしたら中国に対する以上の蛮行を行いつつながら、殆ど意識されていないフィリピンの、日本軍が最後を迎えた山岳地帯まで日比慰霊のスタディーツアーに参加してきました。「許します。でも忘れません。」初めて日本人に心情を吐露したと涙を堪えながら話してくれた方々に応えるには、まず知ること、その上で行うこと、

語ること、これが鉄則だと思えます。事実を認識しないでする謝罪は、罪の上塗りでしかないように思えてなりません。

2015年に、2065年までの人口推計が発表されています。合計特殊出生率と死亡率が現在のまま維持された場合、日本の人口は8,808万人になるとのことです。誤差が大きくなるためか低位出生の推計や、百年後の推計は行われておりません。IMF（国際通貨基金）による来年度の国別の経済成長見通しでは、先進諸国の中で日本だけがコンマ数パーセントであり、現状維持もままならない状況が指摘されていますが、その大きな要因は人口減少です。土地余り、家余り、モノ余りの時代に入りそれが続いています。この厳しさを覆すべく奮闘されている川西町の取組みには、本当に頭が下がります。

情報化の動きはますます、IOT（アイオーティー）などという言葉が当たり前のようになっているように感じられます。すべてインターネットで結び、便利、安心、快適な生活を実現しようとする動きのようです。その反面で、人から工夫や努力という言葉が奪っていく、便利だけれども不幸、というような世界に向かっていくような気が

がします。世界がGDP（国民総生産量）を基本として動いているなかで、ヒマラヤ山脈のインド側の小国ブータンでは、GNH（国民総幸福量）を指標として国が運営されており、一時話題になりました。過度の開発によるアンバランスを、不幸な状態ととらえる感性は、私達川西町出身者にはとても馴染みやすく、あの里山に抱かれた暮らしを思い出させてくれます。

あるコンビニが営業時間の短縮を打ち出したらグループ本社が制裁を仄めかすなど、笑い話では済まされない恐ろしさを感じます。

あらゆる面で行き詰ってきている、進まないこと、伸びないことが悪のように思えて怯えている、そんな平成ではありましたが、次の令和は調和を最大の価値とする、そのようにならないを得ないものと思えます。さあ、川西の時代が廻ってきます。誰よりも自然と調和を愛する、私たちの出番です。

東京川西会 会報 No.八十号

発行「アルカディアの里」東京川西会

発行責任者 会長 森田 光雄

編集人 広報委員長 鈴木 茂

連絡先 事務局長 佐藤 誠

横浜市保土ヶ谷区岩崎町十八、四八

電話 〇45・333・8368

山田錦100%の
純米酒。手作りの酒

住吉

すみよし

山田錦100%の
純米酒。手作りの酒

樽平

たるへい

樽平酒造株式会社

TEL 0238(42)3101(代) FAX 0238(42)3104

山形県東置賜郡川西町中小松2886 URL <http://www.taruhei.co.jp>

「お酒は20歳になってから」

ふる里のおみやげに

塩・倉印



〒999-0121山形県東置賜郡川西町上小松 1574

電話0238(42)3044・FAX0238(42)3144